

よりよい市政運営に力

小山副市長が就任会見

小樽市の小山秀昭副市長(61)は5日、市役所内で就任会見を行い、「副市長は市長と現場の職員の間で調整する立場。よりよい市政運営のために力を尽くしたい」と抱負を述べた。

小山氏は本年度の除排雪について「昨年度は市民要望に沿っていなかった。本年度は迫俊哉市長の下での新体制。現場の意見を聞きながらしっかり行う」と強調。小山氏は除雪対策本部の本部長も務める。

さらに小山氏は、森井秀明前市長の市政運営をめぐり「市政のさまざまな場面で組織力の低下を感じてきた。職員に自分の意見を真



就任会見で抱負を述べる小樽市の小山秀昭副市長

日、小山氏の起用に同意する文化を根付かせたい」と述べた。

森井前市長と市議会の対立が深まる中、2017年12月から副市長の不在が続いていた。市議会が今月4日に小山氏の起用に同意し、5日付で就任した。小山氏は小樽商大短期大学部卒。医療保険部長や財政部長などを歴任し、今年3月に市を定年退職し、市社会福祉協議会の常務理事を務めていた。(渡辺佐保子)